

## 【草花の部屋】

### ミヤコワスレ (キク科シオン属 *Miyamayomena savatieri*)

**和名**：ミヤコワスレ(都忘れ)、ミヤマヨメナ(深山嫁菜)

**別名**：ノシュンギク(野春菊)、アズマギク(東菊)

**英名**：Gymnaster、

キク目 多年草 **原産地**：日本

**花言葉**：しばしの慰め、別れ **花色**：白、桃、青、紫



← 写真-1 ミヤコワスレ

撮影日：2020年05月29日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん

↓ 写真-2 ミヤコワスレの花

撮影日：2020年05月29日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん



← 写真-3 ミヤコワスレの葉

撮影日：2020年05月29日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん

ミヤコワスレは日本に自生するミヤマヨメナ (*Aster savatieri*) の園芸品種で、江戸時代から品種改良されてきた歴史あるキク科の植物です。花期は4月～6月で、野菊は秋に開花する種が多いのですが、春から初夏にかけて花を咲かせる珍しい野菊です。「株分け」か「挿し芽」で増やす事ができます。

花期になると、細く伸びた茎の頂部に、花径3～4 cm程度の頭状花を咲かせます。頭状花は周囲で花弁のような舌状花と、中心部分の筒状花からなる集合花です。ミヤコワスレの頭状花は、舌状に伸びた舌状花の花冠が原種のミヤマヨメナに比べるとやや幅広く、鮮やかな色をしています。

葉は長楕円形または卵状楕円形で縁に荒い鋸歯があり、互生します。茎はよく分枝して花を咲かせながら草丈20～30 cm程度に成長します。濃い緑の葉色と清楚な花のコントラストが美しい植物です。もともと花もちが良いうえ、出回っている改良種は分枝性に優れているので長期間花を楽しめます。

夏の暑さを嫌うので、風がよく通る場所で管理することを、お薦めします。一方、寒さには強いので、冬はさほど注意することはありません。ただし、霜や凍結にならないよう、配置場所には要注意です。寒冷地では霜よけ対策として、使い切った用土袋や半分にカットしたペットボトルが有効です。霜や凍結の被害が出ると春からの生育が悪化してしまいます。

花の色によって品種名が異なります。例えば、代表的な濃い紫色の花には、江戸紫があり、桃色の花には、浜乙女や桃山という品種名が、青色が混じった薄い紫色の花には、青空という名前がついています。